

野々市市提案型協働事業 活動紹介

協働事業名	「のっティバスどこ」の長期運用にチャレンジ
事業年度と提案タイプ	令和元年度 市民提案型
解決を目指す課題	平成31年1月から3月にかけて市およびのいちバス株式会社と協働して、市コミュニティバス「のっティ」の現在地を表示するシステム「のっティバスどこ」の実証実験を行いました。アンケート調査では、利用者の9割の方々から「継続して活用したい」という声とともに、改良に向けた意見もいただきました。いただいた意見を元にシステムの改良を行うことで、住みやすい地域を支えるIoTシステムの実現を目指しました。
協働のポイント	
団体名称	金沢工業大学 Bus Stop プロジェクト
団体の紹介	市コミュニティバス「のっティ」の現在地を表示するシステム「のっティバスどこ」のシステムの改良を行うとともに、バス停からでもバスの現在地が分かるシステムの開発を行っています。
行政担当課	地域振興課

活動の紹介（事業概要）

「のっティバスどこ」システムの改良に向けて、主に3つの活動を以下通り行いました。

1. バスの位置を確認できるバス停の設置

- ・スマートフォンを持っていない人にも利用いただけるように、バスの現在地をバス停留所案内表示板上でLED点灯により表示する「LED表示システム」を開発しました。
- ・開発したシステムとGPSを用いて、動作実験を行いました。
- ・システムを導入したバス停を市役所に設置し、利用者アンケートを実施しました。

2. 「のっティバスどこ」アプリの改良

- ・パソコンやスマートフォンのアプリ上で、バスの現在地を確認できる「のっティバスどこ」アプリを改良し、各停留所のアイコンをクリックすると、時刻表が表示され、乗車予定時刻と降車予定時刻の確認ができるように改良しました。併せて、フォント・レイアウトを改良し、より見やすくしました。

3. ハードウェア（通信機器）の改良

- ・装置を小型化して、バスの振動に対する耐性を強化し、長期運用を可能にしました。

